

(別記)

(公表様式1)

熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準
(乳児院版)

◎ 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 あすなる福祉サービス評価機構
所 在 地	熊本市南熊本3丁目13-12-205号
評価実施期間	23年1月27日～23年3月28日
評価調査者番号	①第06-021
	②第06-026
	③第09-005
	④第10-003

1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称： (施設名) 八代乳児院	種別： 乳児院
代表者氏名： (管理者) 山下 誠	開設年月日： 昭和52 年 4 月 1 日
設置主体：社会福祉法人八代児童福祉会 経営主体：社会福祉法人八代児童福祉会	定員：15名 (利用人数) 15名
所在地：〒866-0001 熊本県八代市郡築12番町71-2	
連絡先電話番号： 0965 — 37 — 2227	FAX番号： 0965 — 37 — 1725
ホームページアドレス	http://www.

(2) 基本情報

サービス内容 (事業内容)	施設の主な行事
家庭での養育が困難な乳児の養育 ショートステイ、トワイライトステイ事業 病児、病後児保育事業	初詣、節分、ひなまつり、花見、子どもの日 七夕、お泊まり保育、海水浴、フルーツ狩り 七五三、観月会、クリスマス、誕生会、 日明け
居室概要	居室以外の施設設備の概要
寝室39.96㎡、観察室34.39㎡、診察室6.75㎡ 病室6.75㎡、ほふく室28.96㎡、調理室21.66 ㎡、浴室9.53㎡、便所22.5㎡	遊戯室、食堂、相談室、洗濯室、和室、 応接室

職員の配置

職 種	常 勤	非常勤	資 格	常 勤	非常勤
施設長	1		社会福祉士	1	
書記	1		社会福祉主事	2	
看護師	3		看護師	3	
嘱託医		1	保育士	1 3	
保育士	1 1		栄養士	1	
児童指導員	1		調理師	5	
栄養士	1		ケアマネージャー	1	
調理員等	5		准看護師	1	
合 計	2 3	1	合 計	2 7	

※ 資格の種別は、保健・福祉・医療に関するものを記入してあります。

※ 複数の資格を持ち重複計上している場合があるため、職種と資格の数は必ずしも一致しません。

2 評価結果総評

◆ 特に評価の高い点

I. ぬくもりのある運営

施設長を含め全職員が、「人肌と木肌のぬくもりの中で、家庭に勝る子育て及び人を愛する情緒豊かな人格の形成がなされるよう努める。」の養育理念を実践している。

担当保育者（ケースマザー）による一人ひとりの乳幼児へかかわり、目線での授乳や沐浴支援に表れ、同一職員による入眠・起床支援は人肌のぬくもりを与えており、心豊かなぬくもりのある運営体制である。

II. 地域ニーズの的確な把握

この地で35年に亘り、乳幼児を支援してきた実績により、運営体制は確固たるものがあり、地域福祉ニーズを把握した子育て支援短期事業としてショートステイやトワイライトステイ、緊急一時保育、病児病後児保育や育児ママの休養支援等、子育て支援の拠点としての役割を發揮し、地域で子育てに悩む人々を支えている。

III. 安全管理や健康管理へのきめ細かな取り組み

意識の高い安全管理事業利用対象者の特性を十分把握し、きめ細かな交通安全対策、緊急対応、事後対策を実施している。関連文書の作成、保存、開示も適切であり、高い意識を持った安全管理と健康管理や医療を支援している。

◆ 改善を求められる点

I. 中・長期計画の策定

単年度の事業計画は養育理念や指導指針に基づき策定されているが、中・長期計画は、ビジョンはあるものの策定されていない。

23年度全面改築に向けた取り組みや、単年度においては、各担当者レベルでコミュニケーションを図り、職員の意見を反映した事業計画を策定している。

今後は組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等、多角的な視点での課題を全職員で検討し、中・長期計画の早期の策定が望まれる。

II. 質の向上に向けた取り組み

今回の第三者評価を受審するにあたり、自己評価を分析し全体像を把握する等真摯に取り組まれている。また、全国乳児福祉協議会の項目を参考に、独自の振り返り表を作成し、職員それぞれの評価を行っている。今回の第三者評価結果を踏まえ課題の分析や自己評価及び第三者評価受審の継続に期待される。

3 第三者評価結果に対する事業者のコメント（400字以内）

(H23.3.25)

今回、福祉サービス第三者評価を受審するにあたり、評価を受けることに不安と戸惑いは大いにありましたが、現時点でのありのままの姿を評価していただきたく受審致しました。

家庭的な環境や雰囲気の中で子供たちの幸せを最優先に考え、スキンシップや個々の関わりを多く取り入れた養育を行ってきました。

私どもの事業内容を客観的な目で見えていただき、明確になった課題は真摯に受け止め、克服に向け努力していきたいと思えます。

最後に、今回の評価調査にご協力いただいた評価機関の皆様、職員一同感謝申し上げます。

4 評価分類別評価内容

<p>評価対象 I</p> <p>1 理念・基本方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 養育理念の中で「子どもの権利が優先されること」を謳い、指導指針として「人肌と木肌のぬくもりの中で、家庭に勝る子育て及び人を愛する情緒豊かな人格の形成がなされるよう努める」として、しおりや事業計画書に明示し、掲示による意識向上に取り組んでいる。 ◆ 施設長は年頭での所信表明や会議を通して職員等へ周知を図っている。新築の予定や施設長変更に伴いパンフレットの改定等が検討されている。 ◆ 利用者や家族に対して教育目標や指導方針をパンフレットにより説明している。パンフレット改定後には、訪問される家族に再度理解を深めるような取組みが期待される。
<p>2 計画の策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中・長期計画は策定されていない。 単年度の事業計画は養育理念や指導指針に基づき策定しているが、中・長期計画は、ビジョンはあるものの策定されていない。 23年度全面改築に向けた取組みや、単年度においては、各担当者レベルではコミュニケーションを図り、職員の意見を反映した事業計画を策定している。今後は組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等、多角的な視点での課題を全職員で検討し、中・長期計画の早期の策定が望まれる。

<p>3 管理者の責任 リーダーシップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 施設長は会議の中で自らの職責を表明し、職員会議やケース会議・朝礼への参加により現状を把握し、問題点の具体的な指示を出す等、リーダーシップを発揮している。 ◆ 法令遵守の観点から外部研修への参加や行政からの通達、メール等により情報を把握し、職員会議の中で全職員へ周知を図っている。 ◆ 今回の第三者評価を受審するに当たり、自己評価を通して分析し全体像を把握している。 ◆ 職員の個別支援体制を強化するため、施設長は業務の効率化（設備・備品の充実）を図っている。
<p>評価対象Ⅱ 1 経営状況の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 社会福祉動向については、行政、経営協、児童相談所等から、また、地域の現状については民生児童委員から情報を得て把握している。 ◆ 子ども支援短期利用事業として、ショートステイ、トワイライト、デイサービス、病児・病後児支援事業等、地域福祉ニーズに即した事業を展開している。 ◆ 外部監査は導入していないが、公認会計士に適宜相談しアドバイスを受けている。
<p>人材の確保・ 養成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 就業規則や職員サービス遵守事項等により人員体制や人事管理体制が確立し、職員勤務体制を事業計画の中に掲載している。現在の職員配置は国の基準を上回っており、個別に対応する為の職員配置も検討されている。職員の研修計画は掲げているが、各職員が課題や目標を設定し、職員ごとに習得すべき知識や技術について定期的に達成度を確認するまでには至っていない。個別の目標設定と達成度評価を実施することで、効果的な目標管理や、職員各自のモチベーション向上につなげることが期待される。 ◆ 人事考課基準が不明瞭である。職員のモチベーション、将来の経営状況の変化を考えると、考課基準の策定が望まれる。 ◆ 次世代の人材育成として看護学校や保育士養成校等の実習生を積極的に受け入れている。

<p>3 安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 看護師による毎月1回の救急蘇生法や応急手当研修、ケース会議等で感染症等のマニュアルを基にした話し合いを持ち、インシデント・アクシデントに基づき、発生場所・時間等の把握により再発防止に努め、個人記録に残すことで注意を喚起している。 ◆ 防災対策要領、交通安全対策、防火訓練、風水害・地震対策等のマニュアルを整備し、毎月計画に沿った訓練や研修を行う等、意識の高い危機管理が実施されている。
<p>4 地域との交流と連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域福祉ニーズを把握し、行政の委託事業に参画（キッズルームやキッズケアホーム等）する等、行政と協働し地域社会の中で子育てに悩む人々を支えている。 ◆ 事業所行事に案内状を配布し交流促進に取り組む等、近隣地域との関係は良好な関係が築かれている。 ◆ ボランティア協会に所属し連携を図っており、職員もボランティア活動に参加し、事業所にも環境整備にライオネスクラブから定期的な訪問を受けている。 “八代乳児院だより”の中でボランティアを呼びかけるなどの取り組みを行っている。県内にある3施設での研修会や意見交換会、地域にある高齢者施設との相互交流、病後育児預かり事業、地域性からの農繁期乳児預かり等、地域住民のニーズが的確に把握され、ショートステイ等を展開している。
<p>評価対象Ⅲ 1 利用者本位の福祉サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 養育目標のもと、利用者本位の福祉サービスの提供が行われている。利用者満足の上昇をするためには姿勢を明示した文書の整備や把握する為の取組みに今後着手する必要がある。 ◆ 苦情解決の仕組みはあるが、説明資料の充実や意見を述べやすい環境や体制作り、意見を集めようとする姿勢が求められる。
<p>2 サービスの質の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全国乳児福祉協議会の項目を参考にして、独自の振り返り表を作成し、職員それぞれの評価を行っている。今後は定期的な第三者評価受審及び自己評価の実施により更なるサービス向上に期待したい。 ◆ サービス実施の記録は、適切に行われ、子供たちの状況など職員間での共有化を図っているが、記録の管理体制の整備が必要である。

<p>3 サービスの開始 継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 利用希望者に対するサービス選択に必要な情報として“しおり”を提供している状況であり、インターネットの利用や、わかり易い資料を作成することが望まれる。 ◆ 利用施設の変更や家庭への移行も子どもたちの状況に合わせて適切に行われているが、手順や引継ぎ文書等の整備が今後は求められる。
<p>4 サービス実施 計画の策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 家庭支援担当者により入所時のアセスメントを行い、担当保育者（ケースマザー）を中心に一人ひとりの状況や発達に応じた個別サービス計画を作成している。 スタッフ会議、ケース会議、申し送りや掲示板で情報を共有し、毎月評価見直しを行っている。
<p>評価対象Ⅳ A－1 日常生活支援サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ケースマザーにより一人ひとりの子どもに対して抱っこし、目線を合わせ語りかけながらの授乳や沐浴、眠りにつくまで職員が付き添い、同じ職員が起こすことで不安なく目覚められるようにする等、人肌のぬくもりのある支援を大切にしている。 ◆ 人を愛する情緒豊かな人格形成の礎となる乳幼児期支援に努めている。 ◆ 一人ひとりの健康状態について、マニュアルや記録だけでなく、日頃のコミュニケーションやスキンシップにより察知し、異常の早期発見に努める等職員の力量を発揮している。また、嘱託医や地域の医療機関との連携を図り適切な対応に努めている。
<p>A－2 利用者の尊重</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 乳幼児の入所に至った経緯を認識し、それぞれの子どもの福祉が優先される支援を養育目標に掲げ、実践している。体罰や暴力、言葉による拘束について、職員職務遵守事項を配布し、対象となる行為等を明確にし、施設長は会議や勉強会で取り上げ、不適切な対応がないように指導している。 ◆ 衣服は常に清潔を心がけ、全て個人使用等一人ひとりを尊重した支援に取り組んでいるが、ただ、食堂での配膳を含め、エプロンの使用法や与薬支援、おもちゃの天日干方法等これまで日常的に行ってきた支援が、流れ作業や職員の都合になっていないか、一連の支援方法を検討されることが望まれる。

(参考) 利用者調査の手法等

調査の手法	対象者	対象数(人)	基準数に満たない場合の理由
アンケート調査	利用者本人	4人	① 調査方法は、乳児院という性格から2月1日から3月20日までの調査期間中に訪問された保護者に対してアンケートを依頼する方法を採用した。 ② 4名の訪問者のうち全員から回答を得た。
	家族・保護者		
聞き取り調査	利用者本人		
	家族・保護者		
観察調査	利用者本人	10人	

評価細目の第三者評価結果 (公表様式9)

【 乳児院版 】

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	(a)・b・c
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	(a)・b・c
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。		
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a・(b)・c
	I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a・(b)・c

I-2 計画の策定

		第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a・(c)
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・(c)
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	a・(b)・c
	I-2-(2)-② 計画が職員や利用者等に周知されている。	(a)・b・c

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	(a)・b・c
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	(a)・b・c
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	(a)・b・c
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	(a)・b・c

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
	Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	(a)・b・c
	Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	(a)・b・c
	Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	a・(b)・c

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

		第三者評価結果
Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・(b)・c
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a・(b)・c
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	(a)・b・c
	Ⅱ－２－（２）－② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a・(b)・c
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	(a)・b・c
	Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	(a)・b・c
	Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	(a)・b・c
Ⅱ－２－（４） 実習生の受け入れが適切に行われている。		
	Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	(a)・b・c
	Ⅱ－２－（４）－② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	(a)・b・c

Ⅱ－３ 安全管理

		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
	Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など、利用者の安全確保のための体制が整備されている。	(a)・b・c
	Ⅱ－３－（１）－② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	(a)・b・c

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

		第三者評価結果
Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		
	Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	(a)・b・c
	Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。	(a)・b・c
	Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	(a)・b・c
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	(a)・b・c
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関等との連携が適切に行われている。	(a)・b・c
Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	(a)・b・c
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	(a)・b・c

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a・(b)・c
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	(a)・b・c
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に務めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a・(b)・c
	Ⅲ－１－（２）－② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a・(b)・c
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a・(b)・c
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a・(b)・c
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a・(b)・c

Ⅲ－２ サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a (b)・c
	Ⅲ－２－（１）－② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a・b (c)
	Ⅲ－２－（１）－③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a・b (c)
Ⅲ－２－（２） 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
	Ⅲ－２－（２）－① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	(a)・b・c
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	(a)・b・c
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	(a)・b・c
	Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a (b)・c
	Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a)・b・c

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

		第三者評価結果
Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a・b (c)
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	(a)・b・c
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a (b)・c

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
	Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	(a)・b・c
	Ⅲ-4-(1)-② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	(a)・b・c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	(a)・b・c
	Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	(a)・b・c

評価対象Ⅳ

A-1 日常生活支援サービス

		第三者評価結果
A-1-(1) 発達援助の基本		
	A-1-(1)-① 乳幼児と愛着関係を築くように努めている。	(a)・b・c
	A-1-(1)-② 入所当初の環境変化に対応できるよう支援している。	(a)・b・c
A-1-(2) 健康管理		
	A-1-(2)-① 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	(a)・b・c
	A-1-(2)-② 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	(a)・b・c
	A-1-(2)-③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や窒息の予防策を講じている。	(a)・b・c
A-1-(3) 睡眠環境等		
	A-1-(3)-① 乳幼児が十分な睡眠をとれるように工夫している。	(a)・b・c
	A-1-(3)-② 快適な睡眠環境を整えるように工夫している。	(a)・b・c
	A-1-(3)-③ 気候や場面、発達に応じた適切な衣類管理を行っている。	(a)・b・c
	A-1-(3)-④ 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	(a)・b・c
	A-1-(3)-⑤ 施設・設備に関して、乳幼児や来所者が利用しやすいように配慮した取り組みを行っている。	a・(b)・c
A-1-(4) 食事		
	A-1-(4)-① 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	(a)・b・c
	A-1-(4)-② 離乳食を進めるに際しては十分な配慮をしている。	(a)・b・c
	A-1-(4)-③ 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	(a)・b・c
	A-1-(4)-④ 栄養管理に十分な注意が払われている。	(a)・b・c
	A-1-(4)-⑤ 食育の取り組みを行っている。	(a)・b・c
A-1-(5) 発達段階に応じた支援		
	A-1-(5)-① 幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	(a)・b・c
	A-1-(5)-② 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a・(b)・c

A-1-(6) 家族とのつながり		
A-1-(6)-①	児童相談所等と連携し、乳幼児と家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりができています。	Ⓐ・b・c
A-1-(6)-②	保護者と子の愛着関係、養育意欲の形成を援助するように努力しています。	Ⓐ・b・c
A-1-(6)-③	乳幼児と保護者に必要な心理的支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A-1-(6)-④	家庭復帰のための対応や里親への委託を積極的に行っている。	Ⓐ・b・c

A-2 利用者の尊重

		第三者評価結果
A-2-(1) 乳幼児の権利擁護		
A-2-(1)-①	体罰が行われないよう徹底されている。	Ⓐ・c
A-2-(1)-②	乳幼児に対する暴力、言葉による脅かし等の不適切な関わりの防止と早期発見に取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
A-2-(1)-③	職員の接し方について、乳幼児をひとりの個人として尊重する取り組みを行っている。	a・Ⓕ・c

(参考)

	第三者評価結果		
	a	b	c
共通評価基準 (評価対象Ⅰ～Ⅲ)	34	16	5
内容評価基準 (評価対象A1～A2)	21	3	0
合 計	55	19	5